

平成26年度

平成26年8月28日

学校だより



夢に近づけ 今、鴨居がいいかも！
横浜市立鴨居小学校



電話 045(931)2062

<http://www.educity.yokohama.jp/sch/es/kamoi/>

つながることの大切さ

副校長 奥田 英明

夏の暑さと強い日差しを受けながら、校庭にある稲田では子どもたちが育ててきた稲穂が実り、北門近くの畑ではスイカやポップコーンの収穫もできました。自然の恵みを感じた夏になりました。しかし、一方では日本各地で記録的な豪雨による被害も続き、自然の怖さも感じました。亡くなられた方や未だに不明の方を思うと心が辛くなってきます。いつも災害時に思うのは、救援隊もそうですが、ボランティアの方々の力の大きさです。人と人がつながることの大切さを感じています。

7月30日(水)区水泳大会が鴨居小学校で行われました。プールサイドでは「イーケ・イケケ鴨居！オセ・オセ鴨居！」大きな声援が鳴り響いていました。それから、子どもたちは25m・50mと泳ぐ距離に違いはあるもののプールのゴールに着くと同時に、計時係の先生からタイムを教えてもらい、自己ベストだと手をあげます。すると、会場から拍手が起きました。自己ベストを出した子どもたちも多く拍手も鳴り続けました。竹山小、東本郷小、鴨居小と水泳大会に出場した子どもたちは力を出し切ることができました。応援や拍手を通して子どもたち同士がつながることができました。

8月16日、17日と「第18回かもいわくわくキャンプ」が鴨居小を会場におこなわれました。昨年は体育館の工事で中止、2年ぶりの開催になりました。1グループは12名ぐらいで、グループ内には鴨居中・東鴨居中の中学生のジュニアリーダーが2・3名、総勢約150名の子どもたちが参加をしました。二日間グループに分かれて活動をしました。グランドゴルフやドッジビー、カレー作りに、キャンプファイヤー、クイズ大会、ビデオ鑑賞、実に盛りだくさんのプログラムを楽しむことができました。印象的だったのが閉村式後、帰って行く小学生が見送ってくれるジュニアリーダーに「ありがとうございました。あの、どこに住んでいますか。」2日間でしたが親しくなった表れだと思います。小学生は、中学生、青少年指導員の方々、PTAの方々とながりをもちました。

8月25日、おやじの会、学校開放の団体等の方々で校庭整備をおこないました。子どもたちにとっては何気なく使っている校庭ですが、見えないの方々のご苦労があって使えています。感謝をしなくてはなりません。

人と人がつながる。これからも、鴨居小の子どもたちが、自分から積極的に人と関わり、学んでいくことだと思います。引き続きご協力・ご支援よろしく願いいたします。